



東日本大震災物故者供養塔に酒水加持をされる御貫首



大本堂にて午後2時半に追悼法要が厳修された

東日本大震災四年目を迎えるにあたり、高尾山では、三月十日に仏舍利塔のある有喜苑に建立された東日本大震災物故者供養塔に於いて、大山御貫首導師のもとに追悼法要が執り行われた。

十一日午後二時半には、梵鐘を鳴らし、大本堂内慈照観音前にて、全山あげて大震災により亡くなられた物故者の御冥福を祈った。

焼香に参列された、相模原市から来られた小林和美様は「高尾山には息子の合格が成就したので御礼に参りましたが、今日は東日本大震災四年目とのことで、親類のおじさんが、福島第一原発で働いていて被爆されたりしたので、亡くなられた方の供養で焼香致しました」とのお言葉を頂きました。

# 東日本大震災追悼法要厳修

## 修験道にふれる 11

修験課 桑澤 俊宏

### 《修験道十二道具》 並びに十六道具》

#### 引敷

引敷とは、獣の毛皮を行者が腰に付ける物であります。山中において腰を下し休憩する際、着ている衣帯が汚れないように、座具として用います。また室内（堂内等）では、この引敷をまくり上げ、室内を汚さない用に引敷の上には座らないのです。基本として引敷は鹿の毛皮を用いますが、どの動物の毛皮でも獅子の毛皮であると観念します。獅子とは畜生道の王を意味しますが、仏である行者が無明の世界に例えられる畜生道の王の上に座ると云うことは、凡聖不二（煩惱即菩提）を表しているのです。凡人であろうと聖人であろうと本



質は人間であります。例え動物と人であろうと、生きとし生ける者であり（衆生）そこに優劣や区別はないのです。よって引敷とは、すべての生きとし生けるものは等しく平等であることを意味しているのです。

#### 小天上

登りて見れば 何もなし  
無色界とは 是を云うらむ

#### 《山伏の秘歌》

「小天上 登りて見れば 何もなし 無色界とは 是を云うらむ」

浄土を求めて天界（小天上）まで登って来たが、たどり着いた世界には形あるものは何もない。この世界はなんであるのか。仏教の教えには三界と云う世界があると考えられています。三界とは欲界・色界・無色界のことであります。欲界とは欲望に囚われた世界。色界とは淫欲・食欲からは解脱できたものの、情欲と色欲に囚われている世界。無色界は色や形すら存在しない世界であり、欲望も物質的条件も無い精神世界を表します。

つまり、悟りの境地（浄土）に到達すると云うことは、姿形から得られる物では無く、自身の心の眼によって、開かれる世界なのです。

## 柴燈大護摩供御壇木 特別志納のご案内

當山では毎年三月第二日曜日に、高尾山修験道による火渡り祭が、高尾山麓において盛大に執り行われます。

この勝行にあたり、ご信徒の皆様方より柴燈大護摩供にて使用される、御本尊・飯繩大権現様の功德を顕す御壇木のご志納を一本一万円にて募っております。

尚、ご志納の証として御芳名を薬王院境内に一年間掲示させて頂きます。ご志納方法についての詳細は、高尾山薬王院信徒課までお問い合わせ下さい。

TEL 〇四二一六六一二二五



### 高尾山の昆虫

#### マルガタビロウドコガネ

66



コガネムシ科にビロウドコガネという仲間がいて、体表にビロウド状の微毛を備えることからその名がついた一群です。

ビロウド自体がやや死語になりつつありますが、ベルベツトや天鷲絨と同義語の柔らかで上品な手触りと深い光沢感を持つ敷物のことであり、それに似た特徴を備えていることで、ビロウドコガネの名は言い当てていると思います。

ビロウドコガネ類は草木によく付くことで知られますが、総体的に小型のコガネムシであるため、種の同定は慣れないと難しい面があります。

ビロウド、ヒメビロウド、アカビロウド、カミヤビロウド等高尾でよく見られる種は大きさや色彩がよく似ています。

その中でマルガタビロウドコガネは一際大きい一見すると艶消しでいささか地味な種に見えますが、光の方向によりかなり鮮明に虹色光沢が浮かび上がり、一瞬にして美麗種に生まれ変わることに驚かされます。

高尾では灯火に他のビロウドコガネに混ざってよく飛来しますが、その大きさゆえに存在感が高いと感じさせます。

(撮影・文 松島 孝)